

切磋琢磨Ⅱ

校長室だより

R1.12.3 第29号

師走を迎えました。一年間のしめくくりを

令和元年も 残りあと一カ月

早いもので、いつの間にか12月になりました。児童の皆さんは「光陰矢の如し」ということわざを知っていますか？月日の経つのが速いことのとえです。英語にすると“Time flies.”(時は飛んでいく)となります。このほうがわかりやすいですね。

今年は「令和」という新しい年となり、日本中がお祝いムードに沸き、新時代を祝いました。新しい時代に希望を見出そうとしているかのようでした。しかし、現実には、大きな災害で苦しむ人々の姿や子どもたちを巻き込む事故・事件が報道されています。今でもとてもつらい思いをしている人々のことを、私たちは忘れてはいけないと思います。

さて、皆さんのこの一年はどうでしたか？気持ちのよい新年を迎えるために、この一カ月を有意義に過ごしましょう。そのために、自分はこの11カ月どうだったかを振り返ってみましょう。その際、大切なことは、「友だちと比べるのではなく、前の自分と比べること」です。自分が前よりも頑張ったことや自分が成長できたことを思い出すのです。そして、どうしてそれができたのかを考えてみましょう。

もし、頑張れなかった自分がいたのなら、どうして成長できなかったかを考えてみましょう。その時にも大切なことがあります。「何かのせいにしなないこと」です。うまくいかなかったときこそ、自分を振り返らなければ頑張れないし、成長はできません。何かのせいにして、自分が努力しなかったり、あきらめてしまったりするのは、残念ですが、立派な大人になるのは難しいと思います。

皆さんには、今の自分にできることをもう一度考えて、この一カ月を過ごしてほしいと思います。

もう一つことわざがありました。「終わりよければすべてよし」です。ただ、この言葉を「結果さえよければなんでもよい」というようにとらえないでください。頑張った結果の「終わり」です。

上の文章は、担任から読み聞かせをしています

全校朝会で表彰されました

表彰ラッシュです。各学年だよりにも掲載されていますが、競書会やスケッチ展で特選をとった児童が代表として表彰を受けました。



競書会特選代表



理科スケッチ展代表

また、小柴記念賞や明るい社会づくりの作文の入賞者の表彰も行いました。おめでとうございます。



小柴記念賞受賞者



明るい社会づくり作文
入賞者

(手前みそではありますが)「子どもたちの主体性が育ってきている」と、わくわく発表会を見て感じました。自信をもって発表する姿からは、自分達で考えることや判断することを粘り強く指導してきた先生方の力も大きいと感じています。